

九州実業団駅伝

# 旭化成、3年ぶり優勝

## ツニユーハヤー出場決める

第55回九州実業団毎日

駅伝競走大会は、北九州市の本城陸上競技場を発着する7区間80・5kmのコースで行われ、旭化成Aが3時間54分57秒で3年ぶりに優勝した。旭化成は、正月の全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューアイバー駅伝)の出場を決めた。

1区の市田孝がトップと5秒差の3位と絶好の出だし、2区のキブヤ

ティチはその5秒差を縮

め、トップの九電工と同

着でたすきをリレー。3

区の深津はトップを奪う

と区間賞の走りで首位を

独走。4区村山紘太は庄

巒の走りで区間賞。5区

村山謙太も首位をキープ

し、6区の市田宏は優勝

を決定づける区間賞の走

りで後続との差を広げ、

7区佐々木が安定した走

りで優勝のゴールテープ

を切った。

平成27年以来の優勝に

旭化成の西政幸監督は

「選手がそれぞれの役

割をしつかり果たしていく

流れをつくってくれて

レースの主導権を握るこ

とができた。今大会は、

Aチームオープン参加で

Bチーム、選抜チームで

19人の選手を走らせるこ

とができる点も大きな收

穫。チームの活性化にな

るし、チーム力も上がる

と思う」と話した。(8面

に関連記事)

1区の先頭集団。  
ゼッケン2の1が旭  
化成の市田孝。トッ  
プと5秒差の3位で  
たすきをうないだ

